

奈井江町の特産物

NAIE SPECIAL PRODUCT

大雪山と富良野山麓からのミネラル豊富な水を活かし農作物の生産が盛んな奈井江町。

全国ブランドのお米「ゆめぴりか」をはじめ、様々な種類の農作物を生産しています。

さらに、素材の良さを活かした農産物加工品なども人気となっています。



1
米



2
トマト



3
メロン



4
シイタケ

北海道から日本一おいしい米をつくるため、通常の栽培方法に比べ農薬や化学肥料の使用を半分以下に抑え、有機肥料を多用した「こだわりのプライド米」。「ゆめぴりか」は、「第1回ゆめぴりかコンテスト」で最高金賞を受賞。

雪解け水と広大な平野で生成された肥沃な大地。その大地で「味」にこだわりぬいた「絶品トマト」。しっかりと歯ごたえに甘さと酸味の絶妙なバランス。フルーツトマトは甘さを追及し、もはや野菜とは言えない領域。

奈井江町には「夕張メロン」に負けず劣らぬメロンが存在する。糖度も高く、肉質も厚く、甘みがあるのにしつこくない。3拍子揃った赤肉のジューシーメロン。10月中旬までそのおいしさを堪能できます。



5
そば



6
ジュース

そば粉は全て無農薬のボタンそばを二八そばで手打ち。香りが強く、口に含めば蕎麦の甘さが口に広がる蕎麦。歯ごたえがあるので喉越しもいい。汁にもこだわり、もり汁は辛口、ざる汁は甘口で使い分ける。

奈井江町の「絶品トマト」を使った贅沢なトマトジュース。甘さを引き出すために緻密に計算された塩分を使ったものやトマト本来の甘さを活かした無塩タイプのものなど種類も豊富。しそや季節のフルーツを使ったジュースも美味。



7
調味料・ソース

元気に育ってほしいという想いを込めたブレーンなちひろ餅と奈井江産のお米と雑穀を使い、ぶちぶちとした食感の雑穀もち。地元の素材を活かし8種類の味が楽しめる。お餅で使用している雑穀は個別販売もしています。



9
洋菓子・和菓子



10
味噌・漬物

100%道産小麦や奈井江産のお米を使用した畠の恵みと栄養をたっぷり込んだ風味豊かな自然素材のクッキー。35年前に試行錯誤しながら親子で考案したバター羊羹は、控えめな甘さの中に広がるバターの風味が独特で根強い人気。

きゅうりとなすのからし漬けと大根の酢漬けは、野菜本来の甘さと辛さや酢を絶妙なバランスで調和させた絶品漬物。農家のあさん的手作り「みそ」を作った味噌汁と合わせれば、それ以上のおかずはいらない。



11
酒

良質な酒米であることを示すタンパク含有量の低さが特徴的な奈井江産酒造好適米「彗星」を使用し、昔ながら丁寧な手作りの技法にこだわった純米吟醸の日本酒。淡麗でフルーティーな味わいで飲みやすが特徴。



12
加工製品

国内屈指の研磨技術をもつ会社が、磨きと業界初の泡立てラインを施し、驚くほどクリーミーな泡を作り出すオリジナルタンブラーを開発。また、障がい者支援施設で作られる等は、昭和初期から続く高い技術を用いた質の高い等です。

ACCESS

JR函館本線と国道12号線が町の中央部を、また、町の中心部から車で10分の場所には奈井江・砂川インターチェンジがあり、道央自動車道が南北に縦貫しています。

車を利用
札幌から69km／1時間10分
旭川から65km／1時間5分
千歳から79km／1時間20分

JRを利用
札幌から(岩見沢で乗継ぎ)／54分
旭川から(滝川で乗継ぎ)／55分
千歳から(岩見沢で乗継ぎ)／1時間20分



北海道奈井江町移住定住パンフレット

奈井江町役場

〒079-0392
北海道空知郡奈井江町字奈井江11番地
TEL. 0125-65-2111(代表)
FAX. 0125-65-2809
<http://www.town.naie.hokkaido.jp/>
※無断転用、無断複製を禁じます

HOKKAIDO

NAIE TOWN

Health and Welfare

人と人をつなぐ優しいまち、奈井江町。



あなたをもっと幸せにする場所、探してみませんか？

広い空をバックにひろがる稜線。聞こえてくる自然の声。

朝の新鮮な空気を胸に一日がはじまる。

元気な子どもたちの声、あいさつをしあう地域の人。

この町に人が集まつてくるのには、きっと人をひきつける何かがある。



にわ山森林自然公園内の3つの
展望台からは奈井江の街並みや
石狩川、ピンネシリなどの樺戸連
山を一望することができる。



Welcome Naie!

奈井江町は
こんなまち

奈井江町は、北海道のほぼ中央の石狩平野にあるどかな町です。JR函館本線、道央自動車道が通っており、札幌や旭川などの北海道内主要都市には1時間前後、小樽・富良野・美瑛・千歳など観光地や空港へも2時間以内というアクセスの良さを持ちながらも、四季の色がはっきりとわかる豊かな田園風景や見事な稜線が広がっています。

開拓以来、町の基幹産業は農業。全国ブランドまで育った「ゆめぴりか」などは生産者のプライドをかけて、毎年、良質な作物を生産しています。

また、町の企業誘致に応え工業適地に企業も進出し、今では、製造業も町の主要産業となっています。

平成6年を福祉元年に位置づけ「おもいやり明日へ」をテーマとして保健、医療、福祉に重点をおき、“健康と福祉のまち”として歩を進めてきました。安心して暮らせるよう、町立国保病院の病床を地元開業医に開放して主治医の



北海道の2大都市である札幌市と旭川のほぼ中間に位置し、生活・文化交流、企業立地などの面で恵まれています。



診療を継続できる環境を整えたり、地域のセンター病院である隣市の砂川市立病院（車で約15分）と協定を結んで連携しているほか、介護老人保健施設や介護老人福祉施設、高齢者生活福祉センターも整備しており、医療や介護に不安なく生活ができます。

“健康と福祉のまち”の基盤を整えた上で、わたしたちは未来を考えました。未来を担う子どもたちを大切に健やかに育てる環境を整備することです。妊娠から出産、乳児健診、保育、就学から教育、子どもを育てるパパママへの応援を充実することが一番大きな定住への支援と考えました。平成21年に、保育所と子育て支援センターの機能を複合した施設「はぐくみ」を建設。平成26年には「はぐくみ」を幼稚園機能の備えた認定こども園に移行することで、さらに多くの子育てニーズに対応できるようになりました。小さな町でしかできない地域ではぐくむ子育てを奈井江町では取り組んでいます。



NAIE DATA

人口と世帯数

人口: 5,674人
(男: 2,659人、女: 3,015人)
世帯数: 2,466世帯
※平成27年国勢調査より

気候

比較的内陸性で最高気温30度前後、最低気温-20度前後。初雪は11月上旬ころ、根雪は12月上旬ころで、4月上旬に融雪します。

町内の主な施設

- ・病院
- ・図書館、郷土館
- ・診療所(3)
- ・文化ホール
- ・歯科(3)
- ・陶芸センター
- ・小学校
- ・町民プール
- ・中学校
- ・運動場、サッカー場
- ・高等学校
- ・体育館、格技場
- ・公民館
- ・テニスコート(2)
- ・認定こども園
- ・交流プラザ「みなクル」
- ・老人介護施設(2)
- ・ないえ温泉

まちの主なイベント

- 春…芝桜まつり
- 夏…ふれあいフェスティバル
- PMFコンサート
- 産業まつり
- 秋…文化ホールでのコンサート
- 遊びのフェスティバル
- 音の玉手箱
- 冬…ないえ冬まつり



~生活の特色・支援制度~

• LIFE •

奈井江町は「健康と福祉のまち」としてまちの機能を充実させてきました。
さらに、現在取り組みを進めているのは「住まい」。
奈井江町に移り住みたいという人を応援する仕組みが充実しています。



充実した余暇

奈井江町は職住近接のコンパクトな町なので、仕事のあとに自分の趣味を満喫できます。

例えば、音楽。プロの演奏家も絶賛する音響効果の高い音楽専用ホール（コンセルトホール）で趣味の楽器を周りに気兼ねすることなく思う存分演奏することもできます。その他、近隣市町との施設相互利用で施設利用も充実。スポーツやキャンプ、ワカサギ釣りなどの豊富なレジャーが満喫できます。



1

2



住まいを充実

奈井江町は最近転入者数が増加しています。これは奈井江町の持つゆとりある生活環境や子育て支援策の充実などに加えて、住まいの支援が充実している点があげられます。

また、奈井江町への移住に対してお試し用の住宅を整備し、町内で開催されるイベントへの参加や町内施設の利用券、バーベキューセットをパッケージで格安の利用料で提供しています。ぜひ一度お試しください。



3

生涯活躍のまち

奈井江町では現在「生涯活躍のまち」を目指し取り組みを進めています。ふれあい農園を活用した家庭菜園や小中学生とのふれあい活動、各種サークル活動など、希望に応じて地域活動に参加できるよう仕組みを整え、「いつまでも、元気に暮らせる」ようサポートしていきます。

また、町立国保病院内には、地域の交流スペースとサービス付高齢者向け住宅を併設し、地域コミュニティの場と安心して暮らせる居住環境を整備しました。

定住三大支援

市民以外の方にも奈井江町を知ってもらい、奈井江町民の仲間入りをして欲しい。
活気あふれる町には若い力が必要であり、若者にこの町と共に素敵な未来を築いてもらいたい。
そんな願いから定住促進に向けた思い切った住宅施策を考えました。

①新築住宅助成

町内で住宅を新築し居住した場合、最大300万円を助成。

最大300万円

②中古住宅購入助成

マイホームとして、中古住宅を購入し居住した方に最大200万円を助成。

最大200万円

③民間賃貸住宅家賃助成

民間アパートや戸建ての借家などに居住する若年世帯（単身や夫婦）、子育て世帯の方に月額最大1万円を助成。

最大月1万円を5年間

▶詳しくは、町ホームページをご覧ください。URL <http://www.town.naie.hokkaido.jp/>

~仕事の特色・支援制度~

• WORK •

奈井江町の主な産業は農業と製造業。500名規模の工場も立地しています。

交通の要所に位置していて、さらに子育てしながら働くサポート機能が充実しているので、

奈井江町で暮らしながら周辺の市町村に通いで働く人も多くいます。



新規就農

「ゆめぴりかコンテスト」で全道ナンバーワンである「最高金賞」に輝くほどの熱いプライドを持った農業者が多い米の産地、メロンやトマト・ミニトマトなどの施設野菜も特産品としてこだわりぬいて栽培しています。

奈井江町は、新規就農者に対し、国の補助制度や融資制度などを活用しながら、JAや農業改良普及センター、行政が一体となって支援していきます。また、作物ごとに生産部会も設立されており、生産者が一体となり、地域全体で品質の良い作物生産を取り組んでいますので、安心して就農することができます。



1

2



多様な産業

かつて、隆盛を極めた石炭産業の衰退後、工業化による再興を望んだ奈井江町。交通の便や気候の良さから精密機械の最先端工場など製造業を中心とした工場が立地し、従業者数も多く、今では奈井江町の主要な産業となっています。また、「健康と福祉のまち」を掲げる奈井江町では、医療や福祉に従事する人も多く、生活環境や子育て支援策の充実した奈井江町に暮らしながら、近隣の市町へ通勤している方も多くいます。

子育て

子どももママパパも、もっとコミュニティを広げて友だちを増やしたい、ママも働きながら子育てしたい、奈井江町はそんな多様なニーズに応えられるよう子育てを応援しています。認定こども園を子どもたちの育みの中心に置きながら、小中高校生まで地域の中で育てる、地域の子どもとして育てる、そんな気持ちが溢れているのが奈井江町の特色です。



3

5つの子育てサポート

小さいまちだからこそできる「子育て応援サポート」を奈井江町は推進しています。

初めての妊娠、初めての子育てなど、新米ママ・パパにも安心できる子育て環境を皆さんのが耳を傾けて整備しています。

①こども医療費が無料

誕生から18歳（高校卒業）までの子どもの医療費を無料化。

②認定こども園保育料減額

認定こども園の保育料が最大50%減額。第3子以降は保育料無料。

③5歳児健康相談

初めての義務教育への準備として5歳児を対象にした健康相談事業を実施。

④小中高生すこやか健診

学校で行われる健康診断とは別に小学3年生から高校生までの希望者を対象に、血液検査を含めた生活習慣病予防のための健康診断を実施。さらに、保健師や管理栄養士による個別指導も実施。

⑤小学校で35人学級編成

小学校では、しっかりと基礎的・基本的な知識を確実に身に付けさせるために、独自に教職員を採用し全学年で少人数指導を実施。

▶詳しくは、町ホームページをご覧ください。URL <http://www.town.naie.hokkaido.jp/>



農家さんから分けてもらう玉ねぎ、レタス、キャベツなど、食べたら相当びっくりした。北海道は海産物だけでなく野菜が凄い。

— 実際に奈井江町に来て、最初の印象はどのようなものでしたか？

奈井江に初めて着いたのが夜でした。次の日の朝起きて外を見ていたら、とにかく空が広いんですね。高知は山ばかりだったし、東京はビルばかりだった。奈井江町は、とにかく端から端まで空。気持ちが良くて、さすがは北海道だと思いました。

— 奈井江町の方々と触れ合う機会が多いと思うのですが、皆さんどういった方ですか？

農家の中でも若い方なのですが、みんな若造を見る感じではなく、普通に意見を求めてくれるし、同じ感じで話に参加させてくれるので、あたたかくていいなあと。僕もこういうふうになりたいですね。

— 農業の魅力を教えていただけますか？

自分が手をかけたらかけた分だけ自分に返ってくれるのが楽しいですね。作って終わりというよりは、お客様が手にとって食べて美味しいって言ってくれるまでが農業だと思います。そういう部分で面白味は多いですね。

— 今後の中林さんの目標は？

もともと料理の仕事をしていたので、その技術を活かせるような方向に転換していきたいなと思います。今後は、農園を人に来てもらうことのできる場所にしたいと思います。お店にても農園にても「トマトをとらせて」という感じで、軽く人が来られるような農園にしたいなと思います。また、道外から奈井江町に移り住む人にはぜひ声をかけたい。きっと道外から来る人は知らないことだらけで不安だと思う。自分も道出身のできつと話は合うと思う。

• PROFILE •



中林 覚さん

Satoru Nakabayashi

高知県出身
高知→東京→奈井江

移住歴 9年

両親が高知県から奈井江町に移住し農業スタートを機に2007年に移住。ミニトマトやメロンなどを生産し東京等に出荷している。



田舎だからこそ、スタート段階であり借錢しないでお店をオープン。自分の夢を実現することができました。

— お店の暖簾がイタリアの国旗なのですが、どのような料理が食べられるのですか？

主にスパゲティ、ピザ、オムライス、カレーライス、自家製でつくっているパン、ヨーグルト、ベーコン、グラノーラ、ジャムなどです。自分の食べたいものや興味のあるものをお出ししています。

— なぜ奈井江町に戻ってこようと思ったのですか？

最初、札幌で働いてから30歳くらいでお店を開けようかなと思っていたのです。けれども、22歳の頃に奈井江町へ戻る機会があって、どうせお店をオープンするなら地元のほうがやりやすいだろうなと。土地も安いです。

— このお店はすごく味があつていいと思うのですが、古いのですか？

建ってから40年以上は経っていると思います。もともと食堂で、7年前に居抜きで購入して、リフォームしオープンしました。店主のご厚意ですけれど、「また同じ場所で飲食店をやってくれるならいいですよ」というはからいで、非常に安価で使わせていただけることになりました。

— 奈井江町の魅力って何ですか？

僕にとって必要なものがほとんど揃っています。食材はスーパーが2軒あって、うちの家からすぐ近くにコンビニもあります。本を読むのが好きなので歩いて10分で図書館があって、新刊も希望すれば入れてくれます。保健センターにトレーニング施設があって、運動指導もしてくれます。生活にはほとんどお金がかかりません。

移住を希望する人には、ぜひ田舎の良い面も悪い面も両面をゆっくりとお話ししたいですね。

• PROFILE •



三浦 聖嗣さん

Seiji Miura

北海道出身
奈井江→札幌→奈井江

移住歴 10年

奈井江町出身。高校卒業後、札幌の専門学校に通い、札幌で就職。2007年に奈井江にUターンして「食堂のらねこまんま」をオープン。